

東京 北海道びらとり会便り

「北海道びらとり会」は、関東圏在住者で平取町出身者及び平取町にゆかりのある方の交流と親睦を図るとともに平取町の振興発展に寄与することを目的に設立された会で、北海道に平取町という町が存在することをわかってもらおうという思いを込めて「北海道びらとり会」と命名しました。

発行：北海道びらとり会

発行日：2020年9月30日

「北海道びらとり会便り」第7号では、2020年度総会中止のご案内、本年7月、新しい平取町長に就任された遠藤桂一さんのご紹介、前町長川上満さんの町長職退任にあたって北海道びらとり会に寄せられたご挨拶文、山口繁さん（本町）ご執筆の「故郷の思い出」、都内で開催される平取町の物産展の中止のご報告などを掲載しました。

今年(2020年)の総会は中止

2020年度北海道びらとり会総会は、中止といたします。当初4月18日に開催を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大から11月に延期としました。しかし8月に入っても、首都圏では一向に新型コロナウイルスは衰えを見せておりません。また、この秋冬には第2あるいは第3波の襲来も予想されており感染状況の見通しが立ちません。更にこのような状況下では、総会開催を強行しても参加人数の確保が困難と

の結論に至り、総会中止と判断いたしました。皆様には、開催延期、そして今回は中止のお知らせとなり誠に申し訳ございません。何卒今般の感染状況、社会情勢に鑑みご理解を頂きたいと存じます。来年2021年度の総会は、今後の感染状況の推移や社会情勢を見まもりながら、計画したいと考えております。どうぞご了承下さい。

平取町の新しい町長に遠藤桂一さんが就任

任期満了に伴う平取町長選挙は、2020年6月9日告示されましたが、前副町長の遠藤桂一さん以外の届け出がなく、無投票で遠藤さんの初当選が決まりました。遠藤さんは荷負出身で62歳、北海道学園大学卒業後、1980年平取町役場に採用され、2008年7月まちづくり課長、2016年から2020年3月末まで副町長を1期4年間務められました。遠藤さんの任期は2020年7月3日から4年間です。遠藤さんは町長就任にあたり、今後進めていくべきまちづくりのテーマとして「豊かに暮らせるまち平取をめざす」ことを掲げ、平取町で暮らす人々がそれぞれに、豊かさを感じられる、持続可能な地域づくりこそが、私達がめざすまちづくりの到達点と考えていると述べています。これからの4年間、重責を担う新町長遠藤さんには、健康に留意され私たちのふるさと平取町の発展のため、これまでに蓄積された豊富な行政経験を遺憾なく発揮していただきたいと思います。北海道びらとり会も平取町の応援団として微力ながら協力してまいります。遠藤町長には益々のご活躍をお祈りいたします。



7月10日 臨時町議会で挨拶する遠藤さん

ふるさと 故郷の思い出

沙流川を下って平取大橋を渡ると正面にハヨピラと称する崖がある。頂上にある三角の白い建物が気になる景観を放っている。建物ができる以前、義経神社の裏山からハヨピラに行った。目的は、覚えていない。崖の頂上から少し下ったところが、沙流川に向かって突き出た広場になっていた。ここに、小さな祠が祀られていた。60年前の小学生の記憶である。少し後になって、UFO研究団体が2本のタワーモニュメントをこの場所に建立し、崖の頂上にも件の建物を建設した。さらに、斜面を石積みとベニヤ板で覆ってピラミッドらしき建造物が完成した。



山口 繁(本町)

この完成の式典が催された。臨時のヘリポートや駐車場が河川敷に設営されて、ヘリコプターや見たことのない外車に乗って外国人が多数やって来た。夜になるとUFOのスライド映像を観て、参加者が手をつないで大きな輪になり、一斉に空を見上げてUFOの飛来を念じた。当時の平取にあったのは、異次元の体験だった。中学卒業後は平取を離れて暮らしている。数年前に女性探検家イザベラ・バードが東京から平取までの旅を明治十一(1878)年に著した「日本奥地紀行」を横浜の図書館で何気なく手にした。女史は、平取に2泊3日滞在し、家屋、生活用具、人物像や家族団らんなどに及ぶ精緻なスケッチを描いている。

拝観を許された。急勾配の坂道を登った崖の先端に木造の社があり、そこに納まっていた義経像の詳細を記述しているが、残念なことにスケッチはない。私は、当時の義経神社は、ハヨピラにあって、幼い頃見た祠はその名残であるとして合点した。最近、ハヨピラを訪れた。近藤重蔵が義経像を寄進して社が建てられたのは、寛政11(1799)年、松浦武四郎が義経神社の前身であるハヨピラを描いたのが安政5(1858)年と掲示板に記載されていた。災害による崩落の危険とマムシの被害防止のため、立入禁止とも記載されていた。崖の上に再び立つことは諦めた。ハヨピラには、まだまだ沢山の謎がありそうだ。少しずつ解き明かしてみたいと思っている。



2020年に開催が予定されていた
平取町の物産展は中止

この秋冬に開催予定の「文京博覧会2020」及び「なまらいっしょ北海道フェア2020」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でいずれも中止となりましたのでお知らせします。

会 員 募 集

新規会員の勧誘をお願いします。
以下にご連絡をお願いします。

・平取町役場まちづくり課広報聴係

〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地

TEL：01457-2-2222（直通）

FAX：01457-2-2277

koho.kocho@town.biratori.lg.jp

・北海道びらとり会会長 廿日岩 久典

〒343-0046 埼玉県越谷市弥栄町4-1-287

TEL/FAX：048-976-8728

携帯 090-3246-4858

h-hisa@rg8.so-net.ne.jp

・北海道びらとり会事務局長 須藤 孝夫

〒344-0038 埼玉県春日部市大沼4-43-2-306

TEL/FAX：048-735-6329

携帯 090-8344-3938

sudo2689@lagoon.ocn.ne.jp

ふるさと納税のお願い

私達は平取町への応援の一環として、平取町への「ふるさと納税」を推進しています。平取町のホームページ「暮らし・手続」にアクセスするか、又は下記にお問い合わせください。

皆様のご協力をお願いします。

〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地

平取町役場 観光商工課 商工労働係

TEL:01457-3-7703

FAX:01457-2-2277

E-mail:b.furusato@town.biratori.hokkaido.jp

編集後記

今年の総会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となりました。ワクチン、治療薬が出来るまでは、ウイズコロナの新しい生活様式を余儀なくされています。私も、3月よりテレワークでの仕事、Web会議、果てはWeb飲み会など今までにあまり経験したことがないことの連続ですが、ようやく慣れてきました。満員電車で日本橋まで1日往復2時間強の通勤時間がなくなったのは非常にありがたいことです。皆様も毎日の生活に色々な工夫をされて感染症対策をしていると思います。一日も早く感染拡大が収束することを願ってやみません。2021年度総会が開催でき、皆様と笑顔での再会を願っております。皆様、どうぞご自愛ください(廿日岩)。

前平取町長川上 満さんからの 退任のご挨拶



7月2日 役場職員より花束を受け、役場を後にする川上さん

前町長川上満さんより町長職退任にあたって、北海道びらとり会にご挨拶文を寄せていただきました。

川上さんは、岩知志出身で68歳、中京大学卒業後、1974年4月に平取町役場に採用され、企画課長、総務課長を歴任、2007年4月から12月まで副町長を務められました。2008年6月の町長選挙で初当選、以来2020年7月2日まで3期12年間、町長を務められました。

町長の在任中、「町民が健康で豊かに安心して暮らせる町づくり」を目標に掲げ、様々な施策に取り組んでこられました。また、北海道びらとり会は川上さんの肝いりで2017年に設立され、毎年の総会で平取町の現状と将来に向けた取り組みのお話を伺うことができました。これまでの当会に対する多大なるご指導、ご鞭撻に感謝します。

以下に川上さんからのご挨拶を掲載します。

皆さんこんにちは

北海道びらとり会の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

私事ですが、本年7月2日をもって町長職3期12年任期満了により退任しました。北海道びらとり会の総会時に皆様にお会いして、退任のご報告をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により皆様に会うこともできず残念に思っているところです。

顧みますと、昭和49年4月に平取町役場に奉職してから、町長職を含めて約47年間、ふるさとの変わらぬ山や川などの恵まれた環境のもとで働くことができたことは、最高の極みでありました。微力ではありましたが、平取らしいオンリーワンの町づくりを進めてきたところであります。

基幹産業であります農業の振興として、先人が築き上げた、びらとりトマトやびらとり和牛の更なるブランド化の確立をはじめ、いにしえから沙流川流域に栄えたアイヌ文化の振興、過疎化が進む中で情報の過疎を防ぐため全町に高速通信網光ファイバーの整備、さらには保健福祉の充実として保育料をはじめ中学生までの医療費の無料化、びらとり温泉、国保病院の整備など様々な施策を展開させていただきました。

また、北海道びらとり会が設立され多くの方々との出会いは財産であり、ふるさとを離れご活躍されているお姿を拝見すると共に温かいご支援に感謝の気持ちでいっぱいです。

去年は、当町にとって、隣町の日高町（旧門別町）から明治32年に平取町外ハカ村戸長役場として独立して120年を迎え新たな出発を迎えた年に、平取町120年記念びらとり会交流会が開催され、廿日岩会長、高橋副会長、須藤事務局長、山口幹事にご出席を賜り花を添えて頂きました。札幌びらりと会、苫小牧びらとり会からも多くの参加のもと、ふるさと談議に花を咲かせ、盛大に開催できましたことは忘れることができません。

依然として、地方自治を取り巻く情勢は、人口減少、少子高齢化、気象の変化に伴う自然災害の規模拡大、さらには、世界を震撼させている新型コロナウイルス感染などの拡大により戦後最大の危機といわれるなど多くの課題が山積しております。しかし、「朝がこない夜はない」必ず「陽は、また昇る」ものであります。ポストコロナ社会の変容に備えなければなりません。

今後は、新町長のもと夢と希望のある町づくりに向けて、一層の発展を願うものです。私は一町民として平取町の発展を静かに見守りたいと思います。

結びに、北海道びらとり会の益々の発展と会員の皆様のご健勝でご活躍を心からご祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。本当にありがとうございました。